

「自立心」ってなあに？

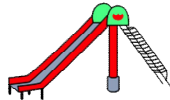
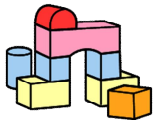


入園・進級して、はや1か月。環境の変化にも少しずつ慣れてきて、先生や友達と関わりながら安心して生活したり、自分がしたい遊びを見つけて元気いっぱい過ごしたりしていることでしょう。さて、この時期、子どもたちのどのような姿が「自立心」につながっていくのでしょうか？



「おはようございます。」
「顔を洗って、歯磨きもしてきたよ。」
「靴箱やロッカーの場所、もう覚えたよ。」

「今日は、外に出てままと遊びがしたい！」
「ブロックでかっこいい車を作ろう！」
「〇〇くん、一緒にブランコに乗らない？」



「長い針が〇〇になったらお片付けだよ。」
「ブロックは、この箱の中に入れるよ。」
「この積み木、ちょっと重いから、二人で運ぼう！」
「お友達や先生と、一緒に遊ぶと楽しいね。」

「朝、お部屋に入ってすること、一人でできるよ。」

- ① すいとうをおく。
- ② たおる こっぷ はぶらしをかける。
- ③ しーるをはる。
- ④ おたよりふあいるをだす。
- ⑤ かばんとぼうしをおく。 など

「トイレに行って、きれいに手も洗ったよ。」

「あー、おなかがすいた！給食、いっぱい食べるよ。」

「にんじん、嫌いだったけど、ちょっと食べられるようになった。」



★子どもは成長するにつれ、みんなが過ごしやすいように使った物を分類して片付けたり、身の回りの環境を整えたりなどが自分たちでできるようになってきます。また、目的に向かって根気強く取り組んだり試行錯誤したりしながら、自信をもって生活するようになっていきます。このような姿をしっかりと受け止めることで、自立する力が少しずつ高まっていくことでしょう。